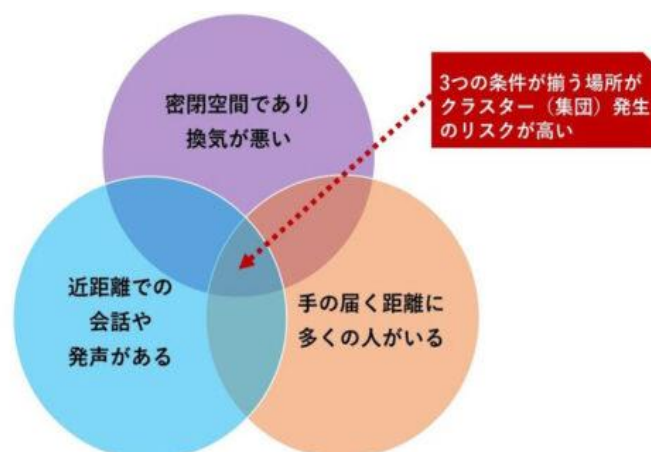


## 新型コロナウイルス感染症対策の実施について

北海道対がん協会では、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（令和 2 年 3 月 28 日（令和 2 年 5 月 4 日変更））をはじめとする政府の諸決定を踏まえ「新型コロナウイルス感染症対策指針」を策定し、また、新しい生活様式を取り入れた「新北海道スタイル」を宣言し、新型コロナウイルス感染に対する予防対策を行っています。今回、施設での検（健）診（札幌がん検診センター）、巡回での検（健）診および送迎バスにて実践している予防対策の具体例を紹介させていただきます。また、検（健）診会場・送迎バスでは受診者・職員相互の安全確保のため、マスク（サージカルマスク、布マスク等）着用を原則とさせていただいております。

### 集団感染対策（クラスター対策）

- ★ 受診者及び職員の体温測定と症状の有無の確認をする。
- ★ 具合の悪い受診者については、受診を控えていただくようお願いする。
- ★ 検（健）診会場及び車輛における人の密度を下げる。
- ★ 検（健）診会場及び車輛を定期的に換気する。
- ★ 検（健）診会場内において近くでの会話を避ける。
- ★ 検（健）診会場の手が触れる場所の消毒を定期的に行う。



### 札幌がん検診センターにおける感染症対策

#### 1. がん検診センター施設内への入場規制

- 施設の待合スペースの状況に応じて施設内への入場を制限しています。施設内待合スペース状況によっては、番号札を渡し入場まで少々お待ちいただくことがあります。（車でお越しの方は車で、送迎バスを利用されている方はバスの中でお待ちいただくことがあります。）

#### 2. 来所者全員の体調確認（写真①②）

- 来所される方全員の体調確認等を、正面玄関のフード内で実施しています。
- 「新型コロナウイルス関連肺炎対策問診票」により次の項目の確認を行います。

a) 過去 2 週間の発熱 b) 咳などの呼吸器症状 c) 倦怠感の症状を確認し、1 項目でも症状が確認された場合は当日の検(健)診を中止して、保健所等に相談いただきます。(入場をお断りしております。)

- 非接触型体温計を用いての検温を実施し、37.5℃以上の場合は普段の平熱など聞き取りながら再検し、発熱が確認された場合は、当日の検(健)診を中止して、保健所等に相談いただきます。(入場をお断りしております。)
- 問診票、検温ともに異常がない方には、手指消毒後入場していただきます。

### 3. 施設内待合スペース (写真④⑦)

- 施設内待合スペースは、各フロアの長椅子には間をあけて座るように、注意喚起の案内プレートを設置して、密接状態を防ぐ措置をしています。

### 4. 総合案内及び受付・会計・問診 (写真③⑤⑥)

- 受診者との受け答えが必要なブースでは、飛沫防止用透明シートを使用します。

### 5. 特定健診スペース

- 特定健診フロアでは、受診者とスタッフの間に飛沫防止用透明シートを使用します。

### 6. 子宮がん・乳がん検診スペース (写真⑧⑨⑩)

- 子宮乳がん検診フロアでは、受付カウンターや診察室では飛沫防止用透明シートを使用します。

### 7. レントゲン受付 (写真⑪)

- レントゲン受付カウンターにおいても飛沫防止用透明シートを使用します。

### 8. 各フロア換気

- 各階フロアでは、1 時間に 1 回、室内の換気のため 10 分間窓を開け空気の入れ替えを行っています。(外気温の状況によっては常時開放します。)

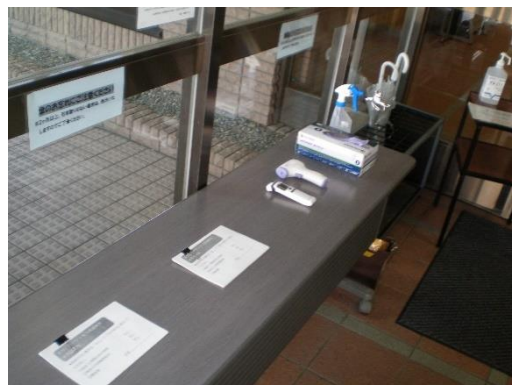
### 9. 検査機器の取り扱い

- 各検査機器は、使用の都度 70%アルコールもしくは次亜塩素酸を用いて消毒を行いますが、構造上の都度で消毒が困難な場所については、装着部位を消毒して検査を行います。

札幌がん検診センター  
感染症対策状況（資料画像）



① 検温の実施



② 体調確認と手指消毒



③ 総合案内



④ 待合スペース



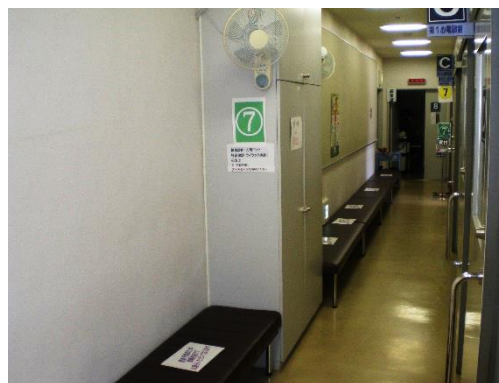
⑤ 受付・会計



⑥ 問診



⑦ 2F 特定健診（採血・身体計測）



⑦ 2F 特定健診待合スペース



⑧ 2F 婦人科外来



⑨ 2F 婦人科医師説明室



⑩ 3F 内視鏡受付



⑪ B1 レントゲン受付

## 巡回検診における対策

### 1. 検(健)診前日=会場の設営時(下見を含む。)

- 窓の大きさ等を確認し、換気の可否と頻度、時間を決定しています。
- 待合室の椅子の配置を1メートル以上の間隔としています。また、待合室が狭い場合、他の待合室の確保等を検討するなど、代替え策を講じることとしています。
- 会場内での手洗い場所を確認しています。

### 2. 検(健)診当日

- 受診者の受付窓口(出入口)と会場にアルコール消毒薬を設置するとともに、受診者に対しアルコール消毒等により手指衛生を励行いただきます。
- 受付窓口において、受診者の体調を確認し、熱があるなどとの訴えのあった場合は、可能な限り受診者の同意を得た上で検温するなどして、必要に応じて医療機関の受診を勧めます。
- 検(健)診を始める前及び始まった後1~2時間間隔で、施設検(健)診と同様に、受診者が頻繁に触れる箇所の消毒を行います。
- 検(健)診を始める前及び始まった後1~2時間間隔で、5分から10分程度、窓を大きく開

けるなど、室内の空気を入れ替えます。

- 検診車内は密室状態となるため、暖かい気温の時は扉を開けておくなど、可能な限り換気します。また、誘導を頻回におこなうことで、受診者が車内で密集しないようにしています。
- 検診車誘導の際、受診者に手指消毒をしていただきます。
- 検診後は手洗いするよう受診者に注意喚起いたします。

## 送迎バスにおける対策

### 1. 乗務員のマスク着用

- 利用者様に安心して送迎バスにご乗車いただくため、乗務員はマスクを着用します。

### 2. 乗務員の健康管理

- 乗務員は、毎日2回（朝・夕）体温を測定するなど、体調状態を把握し、発熱やせき等の症状がある者は自宅待機とし、健康管理の徹底を行っています。

### 3. 車内の清掃・消毒

- 通常の車内清掃に加え、乗務員や利用者様が頻繁に触れる場所は、乗車前後はもとより、必要に応じてこまめにアルコール消毒を実施します。

### 4. 車内の換気

- 車内の喚起は空調エアコンを使用して外気を取り込むとともに、走行中は運転席横の窓を開放するなどして換気を行います。（外気を取り込みにより約5分で車内の空気は全て入れ替ります）（写真⑬）

### 5. 長時間運行時の対応

- 長時間の運行が必要な場合、状況により概ね1時間に1度パーキングエリアなどでの休憩を取り、車内換気を行うと共に、密閉状態を緩和します。

### 6. 受診者様に対するご協力をお願い

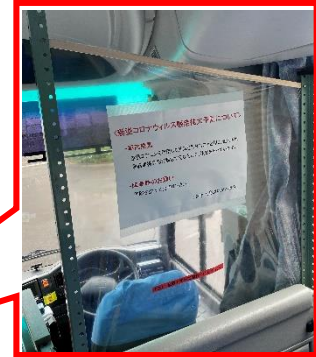
- 感染症拡大予防の観点から、マスクの着用にご協力をお願いいたします。
- 乗車前には、乗務員によるご利用者様の発熱や咳、倦怠感等の確認を行います。なお、症状によっては、乗車及び検(健)診の受診をご遠慮いただいております。
- 乗降口に手指消毒剤を設置しておりますので、乗・降車の際には、手指消毒の協力をお願いいたします。（写真⑫）
- ご利用状況を踏まえ、バス車内の一部の座席の使用を禁止すること等を行い、利用者様同士の間隔を空け、安心できる車内環境の確保をお願いしております。（写真⑭）
- 列を作る際には、出来る限りのソーシャル・ディスタンスをとるようご協力をお願いいたします。

## 送迎バス

### 感染症対策状況（資料画像）



乗降口には手指消毒液を設置しておりますので、乗り降りの際ご使用してください。



運転席と客席の間には飛沫防止シートを設置しています。  
※マイクロバスを除く

### ⑫ 送迎バス（手指消毒と飛沫防止対策）



送迎バス車内は常に空調エアコンを使用して、約5分間で車内の空気が入れ替わります。



### ⑬ 送迎バス（車内の換気）



座席は2人掛けを1名で使用することにより、乗車人数を制限させていただいております。

### ⑭ 送迎バス（車内のソーシャル・ディスタンス）